

競技注意事項

1 規則

本大会は2023年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項によって行う。

2 練習

練習は補助競技場を使用する。ただし、跳躍競技・投てき競技の練習は、出場確認後、役員の指示に従って行うものとする。

3 招集

- 招集は100mスタート後方で行う。
- 招集は、プログラムの競技日程に記載の時間内に行うこと。また招集完了時刻に遅れた者は欠場とみなし出場を許さない。
- 本人が招集所において招集を受ける。ただし、他種目を兼ねて出場する者は、招集所競技者係にその旨を申し出て了解を得ること。（一つの種目に出場していて、他の出場種目と時刻が重なる場合は、当該役員に申し出て了解を得る。）これを怠った者は棄権とみなす。

4 アスリートビブス

- トラック競技のアスリートビブス・腰ナンバー標識は次の通りとする。

	100m・200m・400m・100mH 110mH・400mH・4×100mR	800m・1500m・4×400mR	3000m・5000m・3000mSC 5000mW
アスリートビブス	登録番号を各自で用意	登録番号を各自で用意	レーンナンバーの 特別アスリートビブスを貸与
腰ナンバー標識	登録番号を各自で用意 ※4×100mRは4走のみ	レーンナンバーを各自で用意 ※4×400mRは2～4走のみ	レーンナンバーを各自で用意

- 主催者が用意する特別アスリートビブスは、プログラムでレーンを確認した後、招集所から各自で持っていくこと。なお、レース終了後、フィニッシュ地点で返却をすること。また、腰ナンバー標識用も含め、安全ピンは各自で用意すること。

- アスリートビブスは2枚を胸背部に付けること。ただし、跳躍競技はいずれか1枚でよい。

5 走路の決定及び競技順序

トラック競技の走路及びフィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。

6 リレー

- リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、**招集完了時刻の1時間前までに**招集所に提出すること。
その後、招集完了時刻までに4人そろって招集を受けること。
- リレー競技に出場するチームのユニフォームは、4名統一した物を着用することが望ましい。

7 競技方法

【トラック競技】

- 2組以上のトラック競技はタイムレース決勝とする。
- タイムレースにおいて同タイムの競技者が出た場合、写真判定を細部（電気計時 1/1000）まで読み取り優劣を判定する。それでも判定できない場合は同順位とする。
- スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。
- 男子5000mは20分、女子3000mは15分、男女5000mWは35分で残り1周を通過できない場合、競技を終了する。

【フィールド競技】

- 走幅跳、三段跳、および投てき種目の試技数は4回とする。
- 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、審判長及び跳躍主任の判断により係員が指示する。また、別々のカテゴリーで同時に競技を実施する場合でも、それぞれで残りの競技者が1名となった場合、競技規則通りバーの上げ方を決めることができる。

8 用器具の検査

棒高跳用ポール・投てき用具は、検査を受け承認された物に限り使用できる。但し、承認された投てき用具は、競技場の用具と同じ扱いとする。（棒高跳用ポールは該当役員の検査とし、投てき用具は検査時間内に器具庫前で公式計測員の検査を受ける。）
なお、検査を受ける用具は日本陸連の検定品であること。 **★投てき用具の検査時間 8:00～8:15**

9 警告について

競技規則CR18.5の規定により、不当な行為をした競技者やリレーチームにイエローカード（YC）を提示し警告を与える。
2回のYCを受けた競技者は、競技会から除外される。

10 表彰

【湘南地区】

各種目 6 位までの競技者に賞状を授与する。

【横三地区】

- ① 各種目 6 位までの競技者に賞状を授与する。
- ② 入賞は 8 位までとし、得点は各種目 1 位 8 点、2 位 7 点、…8 位 1 点とする。
- ③ 合計得点により男女総合の学校順位を決定し、6 位までの学校に賞状を授与する。

11 その他

- ① 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。
- ② プログラムに誤記がある場合は、8:30 までに本部まで申し出ること。
- ③ 参加各校の生徒役員（各校 2 名以上）は、8:10 までに本部で受付を済ませること。
- ④ 待機場所としてのテント・シート等の設置可能区域は、指定された場所のみとする。
- ⑤ 応援はスタンドで行うこと。トラック・フィールドへの役員・競技者以外の立ち入りを禁ずる。
- ⑥ 大会中は競技マナーを守り、ゴミ処理・貴重品の管理にも留意すること。
- ⑦ 各校の横断幕、のぼり等は正面スタンドには張らないこと。
- ⑧ 競技場の開門は 7:30（予定）とする。それ以前には入場しないこと。
- ⑨ 競技会終了後は、直ちに退場すること。
- ⑩ 準備、片付けは中地区の学校を中心に行う。
- ⑪ 競技終了後は自席の清掃をし、ゴミは各自で必ず持ちかえること。

◆競技会における事故防止について

- ① 競技場では、決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。競技開始前の練習については、アナウンスでレーン規制を連絡するので指示に従うこと。
- ② 競技会に参加の競技役員、競技者、生徒役員以外は、トラック、フィールドに立ち入らない。
- ③ 競技開始前、練習時間においては競技役員・顧問が協力し巡回指導を行うので指示に従うこと。
- ④ トラック・フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行うこと。
- ⑤ 周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先すること。

◆撮影に関するお願い（学校関係者のみなさま）

◆競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください

① 撮影は全て、スタンドから行ってください。※バックストレートやトラック周辺での撮影は禁止です。

② 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある撮影・行動を禁止します。

例・トラック種目のスタート時の前方・後方からの撮影は禁止。

- ・走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳等の助走後方や着地正面からの撮影は禁止。
- ・走高跳、棒高跳等のマットに向かった正面（クリアランス動作中）からの撮影は禁止。
- ・投擲種目における選手の正面からの撮影は禁止。
- ・競技者がスターティングブロックを合わせている際や試技を待っている間など準備を行っている際の撮影は禁止。
- ・その他、競技者の迷惑と思われる撮影は禁止。

③ 他者に著しく迷惑をかける行為として主催者側で判断した場合は、すみやかに警察及び関係機関に連絡します。

④ 撮影の仕方が不自然な場合や、盗撮が疑われる場合には、競技役員が撮影内容の確認をさせていただきます。

⑤ 競技運営上、競技役員の判断により、撮影禁止エリアを設ける場合があります。

⑥ その他、上記の内容も含めて、競技運営上の都合により（大会当日を含む）変更する場合があります。その際には競技役員の指示に従ってください。

※ 盗撮行為や迷惑行為を発見された場合は、お近くの競技役員までお知らせください。発見次第、記録媒体を没収の上、所轄警察署に通報します。